

部局
中経産

工業との協力体制を

新連携支援で戦略会議

中部経済産業局は十八日、名古屋市中村区名駅一の名古屋マリオットアソシアホテルで「中部新連携支援戦略会議」を開催した。中小企業新事業活動促進法が定める新連携事業のあり方、進め方について意見を交わす会議で、今回が四回目。委員長の小川英次・梅

村学園学術顧問、委員の犬島伸一郎・北陸経済連合会副会長、佐々和夫・中部経済連合会副会長、豊島徳三・中部ニュービジネス協議会副会長、安井義博・名古屋商工会議所副会頭のほか、同事業評価委員会、中小企業庁、中小企業基盤整備機構など関係機関が出席した。

同事業は、複数の企業がそれぞれの強みを生かして新事業を立ち上げようという取り組みを支援するための制度。同局管内では平成十七年度二十一件、十八年度二十八件、今年度はすでに二十四件が認定されている。中小企業は、技術は優れていても営業力や資金

力が不足しているケースが多いため、「地域の金」



新連携制度で意見交換するメンバー

融機関や工業などへ、さらに支援協力のネットワークを広げるべきではないか」という意見や、「良い制度だが利用促進を図るにはハードルが高い面があるのではないか」など運用の改善について指摘がなされた。